

## 新職員紹介



事務  
東條 和子さん

好きな事：お笑い番組を見ること インコと遊ぶこと  
好きな食べ物：餃子、スイカ、たこ焼き  
皆さんへメッセージ：6月から事務員として勤務しております。福祉施設での仕事は初めてなので、1日も早く慣れるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 年賀状販売

今年も年賀状印刷販売を行います。来年の干支は巳です。縁起の良い巳のイラストや、可愛い巳のイラストなど、多数用意しています。また、思い出の写真をプリントすることもできます。

今年も年賀状は全て郵送いたします。送料は施設が全額負担し、代引き手数料は無料となっております。

今年もぜひ足立区大谷田就労支援センターで年賀状をお選びください。



## お歳暮カタログ

今年もお歳暮のカタログ販売を行います。全国の障がい者施設で製造している商品を多数取り揃えております。いずれも高品質の商品となっておりますのでぜひご利用いただければと思います。

詳しくは、お歳暮カタログをご覧ください。

カタログのご請求・お問い合わせ 03-5849-2028（ギフト担当係）

## 施設運営報告

### 学生実習受け入れ

2024年（11名）  
5月 1名 東京未来大学  
6月 2名 東京福祉大学・東京未来大学（保育）  
8月 1名 東洋大学  
9月 4名 東洋大学  
10月 3名 東洋大学

### 防災訓練

5月 水害想定訓練  
7月 不審者対応訓練  
9月 総合訓練（地震想定）

### 内部研修

個人情報保護マニュアル読み合わせ研修 6月5日  
虐待防止・身体拘束マニュアル読み合わせ研修 7月3日  
BCP読み合わせ・不審者対応DVD視聴研修 7月9日  
感染症予防研修① 9月24日  
感染症予防研修② 2025年1月実施予定

# OH!YATTA!!

オー!ヤッター!!



発行 社会福祉法人あいの福祉会 足立区大谷田就労支援センター・足立区大谷田ホーム

発行責任者 桑原 祐生

〒120-0001 東京都足立区大谷田1-44-3 TEL 03-3605-6762 FAX 03-3605-7037

URL <http://www.ooyata.com>

令和6年11月15日発行



## 主任ごあいさつ

日脚もめっきり短くなり、冬の気配を感じる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、令和6年度下半期も早2ヶ月が過ぎようとしております。

令和6年度上半期の足立区大谷田就労支援センターを簡単にまとめますと、新規作業の安定化やスポット作業の受注も相まって、作業収入ならびに平均工賃月額は前年度同時期を上回る結果となりました。

さらに、実習生受け入れ人数と外部交流の機会も増加しており、コロナ禍前の活気も戻りつつあるように感じています。

外部交流についてですが、春号にも掲載しましたさつまいも掘り体験がいよいよ開催されます。さつまいもの大きさには多少の不安も残りますが、近隣の保育園児の方々の笑顔を想像しながら利用者の方々と取り組んださつまいも栽培であり、想いの大きさは類まれなものであると自負しております。

作業のイメージが強い足立区大谷田就労支援センターですが、令和6年度下半期は日頃の労をねぎらい、また、息抜きとなるようなイベントも企画されています。

本誌中面では、そのイベントの筆頭ともいえる三七会秋の祭礼についての記事を用意しました。ぜひお目通しいただき、就労支援事業所のイメージとのギャップをお楽しみいただけますと幸いです。（畠山記）



## 三七会秋の祭礼



10月19日、20日の2日間にかけて、地域の方と秋の祭礼を開催しました。1日目の宵宮では、地域の皆様と協力して沢山の模擬店を出店しました。定番の焼きそば、フランクフルトや綿あめ等の模擬店に加え、ゲームコーナーとしてスーパーボールすくい、ヨーヨー釣り、コイン落としなども行い、大勢のお客様で賑わいました。

毎年恒例のビンゴ大会では、約200の方が参加しました。ビンゴが進むにつれ会場の至る所から「ビンゴ!」という明るい声と拍手が巻き起こり、今年のビンゴ大会も大盛況で幕を閉じました。

2日目の本宮は今年も快晴に恵まれ、絶好の神輿日和となりました。太鼓と笛の音が交わり、地域の皆様の掛け声も相まって、担ぎ手も威勢よくお神輿を担いでいました。お神輿二基に山車と約100名近い人数で休憩を挟みながら地域を練り歩きました。利用者の方も地域の方も皆さん笑顔でお祭りを楽しまれていました。

両日ともに多くの方にご来場いただき、大盛況のままお祭りを終えることができたこと、心から感謝しております。また、多くのボランティアの方にもご協力をいただき感謝申し上げます。

今後も足立区大谷田障がい福祉施設は地域交流の機会を大切に努めてまいります。今後どうぞよろしくお願いいたします。(酒井記)

